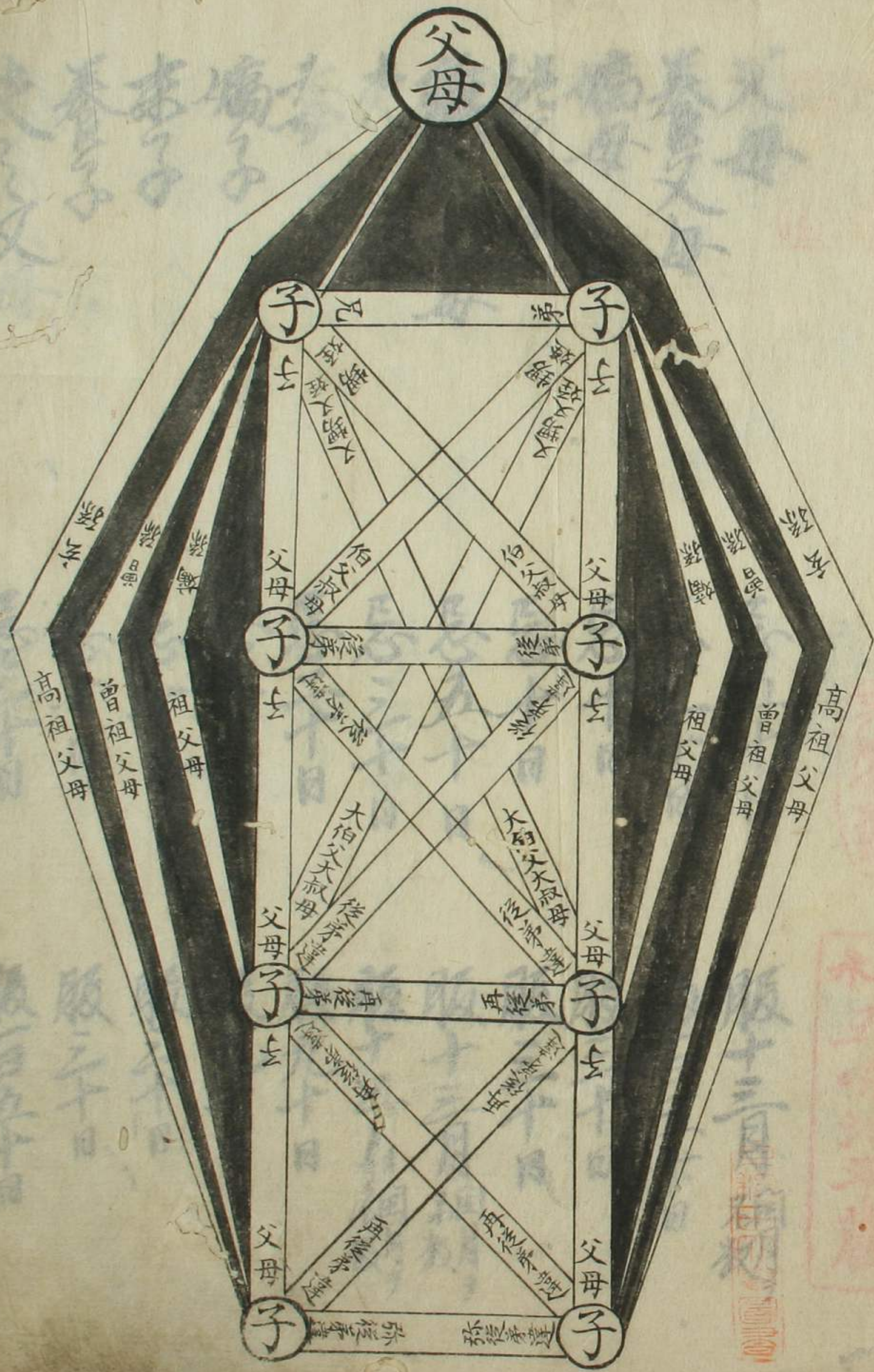


服忌令

73  
6236



737  
6836



父母  
養身父母  
嫡母  
繼父母  
離別之母  
妻  
嫡子  
庶子  
養子  
喪之父母



忌五十日  
忌二十日  
忌十日  
忌十日  
忌二十日  
忌二十日  
忌二十日  
忌二十日  
忌二十日  
忌二十日



服十三月  
服百五十日  
服三十日  
服三十日  
服十三月  
服十三月  
服九十日  
服九十日  
服二十日  
服二十日  
服百五十日



祖父母

母方

忌二十日

服百五十日

曾祖父母

母方

忌二十日

服九十日

高祖父母

母方

忌二十日

服九十日

伯叔父母

母方

忌十日

服二十日

兄弟姊妹

舅父母兄弟姊妹

忌二十日

服二十日

忌十日

服二十日

嫡孫

末孫

忌十日

服二十日

忌二十日

服七日

曾孫玄孫

洗父兄弟姊妹

忌二十日

服七日

甥姪

七歲未滿小兒

忌二十日

服七日

聞忌之事

重親服忌之事

父母二十日忌事  
親於一日忌事

產後

血氣

流產

死穢

踏合

改葬

夫七日

婦二十日

夫七日

婦十日

夫五日

婦十日

一日

行水次

遠急一日



服忌

一 逆次相續せず或は各死後せしむる孝子、同姓の親類は、  
養父母も定式に服忌せず孝子に兄弟姉妹も亦同  
服忌の事、此外に親類服忌せず、実方、親類定式に  
相互に服忌せず、  
孝女も同例、孝家も外に嫁出た孝女も猶相續同例  
一 養家も外に孝子の孝女も亦同、  
孝母も亦同、  
孝母も亦同、  
孝母も亦同、

同

以て案不審

本文に通初、孝子も服忌

他に連系も亦服忌無異別

例

天明三癸卯年谷霧左衛門守合

他人の將を孝子に仕又他に孝子に仕の時

養父母忌服も亦相續せず

附札

書面に通、忌服無

寛延三庚午年松平丹波守守合

高服言由生、高を養母に定他に孝子

系、高相續する者、右高母忌服定式に通

系、高母に方、高の忌服無

附札

書面に通、忌服も亦、高を孝母

定他に孝子に仕、高相續する者、高母

服忌、相續せず

安永八元庚午年五月仙石之部中備中守合

養子之系中其父死去之忌服 交家部督所  
致お續けし之故 致以地外若若母  
を連ゆる又仰 致以中其系の時連系若  
其母之忌服は父の如し

他女及中其子系の時 宜初之其母方養  
父母忌服 及及水母等も是也  
一且中其父之忌服を交家部督お續  
致し之の時 右系の中其母之忌服  
交中其父之忌も 右系の時其母の忌服  
也の時也

附札

書面通中其子系の時 致以地外若若母を  
連又外其部督の時 宜初之其母方養

- 一 遺物お續け 養子系家部督 其の中 病身ある退身の時
- 一 遺物お續け 養子系中其母 忌之十日 服百又十日
- 一 遺物お續け 養子系中其母 忌之十日 服百又十日
- 一 遺物お續け 養子系中其母 忌之十日 服百又十日

他中其子系の時 仰身の時 又十日十二月之月之 後忌了矣

- 一 父も中其子系の時 養子系の時 時中其父之 宜方服忌之 若其方  
身半減之 後忌の時 交中其母の時 服忌の時 中其母の時 同例
- 一 子系之 死去の時 若其母お續けの時 新親の家部督お續けの時  
養父之 如 服忌の時 死去の時 書中其母の時 其母の時 若  
七弟末は 服忌の時 又十日の時 其母の時 其母の時 其母の時  
お其の時 宜之 後忌の時 其母の時 其母の時 其母の時 如

此三年を終る迄おとしるも同例

同

以て三年迄の内、服忌交は年同く服忌  
交はるべき

若

年月・種類等忌後各別

例

天明三癸卯年阿部能登守公守公

家断絶後年終り而して一年忌中

以若右断絶者之喪又と公同首終

中付の日も忌服交の中

他親類分親の之名跡中付も同例

以て若右断絶者之喪又と公同首終

ハ交はるべき若右断絶者之喪又と公同首終

附札

跡を各別

書面通

他親類分親の之名跡中付も同例

以て若右断絶者之喪又と公同首終

ハ交はるべき若右断絶者之喪又と公同首終

無

一 家断絶の方の養子も老るるも服忌別条

一 兄の喪にお成りしき父母も祖父母も續にお成りしき実父母

も服忌也父母の方にも末の子も服忌也兄弟姉妹の伯叔父姉

續にお成りし方にも実父母も中絶も服忌也伯叔父姉の

ハ実親類の中にも從父も從母も服忌也右從父も從母も實伯  
叔父中絶も服忌也



以ケ来、他家を継ぐは、此處の事、親の言はるる孝子  
 にお成り候は、是より姉妹の叔父姑子、亦実の通はるる  
 以て、不限る言親の跡を継ぐ事、智を續け又も  
 祀文の事、此女にお成り候は、嫡孫兼祀、如く実續  
 通版忌更事也

親の跡を是より孝子にお成り候は、軍に忌後如文  
 通はるる物にお成り候は、親の跡を継ぐ事、孝子にお成り候  
 祀文の事、此女にお成り候は、諸親親忌後、表実、此  
 續の成事、此方を是より嫡孫も、祀文の事、孝子  
 にお成り候は、実伯父の事、此女にお成り候は、實父、此  
 忌版、此の事、此女にお成り候は、實母、此の事、此  
 兼祀、此の事、此女にお成り候は、實父、此の事、此

成事、此の事、此女にお成り候は、實父、此の事、此  
 兼祀、此の事、此女にお成り候は、實父、此の事、此

例

寛政六甲寅年五月、松平村、此の事、此女にお成り候は、實父、此の事、此  
 二男、此の事、此女にお成り候は、實父、此の事、此  
 此の事、此女にお成り候は、實父、此の事、此  
 此の事、此女にお成り候は、實父、此の事、此  
 此の事、此女にお成り候は、實父、此の事、此  
 此の事、此女にお成り候は、實父、此の事、此  
 此の事、此女にお成り候は、實父、此の事、此

附礼

書面、此の事、此女にお成り候は、實父、此の事、此  
 此の事、此女にお成り候は、實父、此の事、此  
 此の事、此女にお成り候は、實父、此の事、此



一 父嫡子の多死を忌服身たるは返身他は祖父母を養子とし  
 右に養子の明養子に返身あり又此の養子を相返返身嫡孫  
 兼祖にお成の時右に養子の子孫あり返身あり養子  
 唯し忌二十日服百五十日あり  
 一 末家の養子の成家習お嬢有るは又本家の養子に成りた  
 宜初に養子と放棄し以て末家の養父母を親親後忌無  
 一 父嫡子の多死を忌服身たるは返身他は祖父母を養子とし  
 右に養子の明養子に返身あり又此の養子を相返返身嫡孫  
 兼祖にお成の時右に養子の子孫あり返身あり養子  
 唯し忌二十日服百五十日あり  
 一 末家の養子の成家習お嬢有るは又本家の養子に成りた  
 宜初に養子と放棄し以て末家の養父母を親親後忌無

一 父嫡子の多死を忌服身たるは返身他は祖父母を養子とし  
 右に養子の明養子に返身あり又此の養子を相返返身嫡孫  
 兼祖にお成の時右に養子の子孫あり返身あり養子  
 唯し忌二十日服百五十日あり  
 一 末家の養子の成家習お嬢有るは又本家の養子に成りた  
 宜初に養子と放棄し以て末家の養父母を親親後忌無

他家に養子にお成家習お嬢お故より家所迄有る  
 養母を連き即ち養子に末家の宜初に養母服忌無  
 一 死去の者男子成人を幼少身他家に致すは忌無お嬢  
 右に男子成人の内親に衣養子に嫡子に致し次男他家に  
 お嬢に養子に成るは衣次男に高実方養子中減  
 後忌也  
 一 養父死去以て養母同族せずといふは他に不嫁の者お互  
 に後忌あり他に嫁に後忌無養父を嫁するは他に嫁  
 お互に養母に後忌無養母に後忌あり養父を  
 勿論に事也  
 一 且嫁を離縁する者一旦嫁切らるる何事か養子に  
 後忌不及沙汰也

一 且嫁を離縁する者一旦嫁切らるる何事か養子に  
 後忌不及沙汰也  
 一 且嫁を離縁する者一旦嫁切らるる何事か養子に  
 後忌不及沙汰也

一 且嫁を離縁する者一旦嫁切らるる何事か養子に  
 後忌不及沙汰也



一 喪父の妻は其の妻の死後、其の嫡母に准して親類後忌無き

一 養子親戚引取市中同宗受取去其母毎年養育元元引取市中同宗受取去其母定式忌後三月十五日十二月也

一 養父として嫁出た親父の娘幼少で結婚し、その養父親戚引取市中同宗受取去其母定式忌後三月十五日十二月也

一 女子婚儀に依り、其の親戚引取市中同宗受取去其母定式忌後三月十五日十二月也

他は嫁出た者お互に中絶し後忌と安永二癸巳年土波流路者扱ふ事由同し也附礼

一 婚儀に付養女に成りし実子親類引取市中同宗受取去其母定式忌後三月十五日十二月也

元文元丙辰年中除く条も同し、其後明和八年卯年林大寺改修も由同し右同し安永二癸巳年酒井左衛門尉扱ふ由同し其の養女定式通りも同し、明和四丁亥年五月廿日付次又、此條も上條定式通り極小由用場後忌令も有

二ヶ条九ヶ本文通定式後忌

寛政六甲寅年牧野依波寺合

近例

近例

附札

養女之在親誰日緣起位受其親受在之  
ハ其女故其親親之後忘其受也

書面通ハ縁起之圖中ハハ養女ハ母  
ハ又十日十二月五日ハ其親親ハ  
之定式ハ後忘之也

養女ハ其親他之嫁子ハ其親書ハ母  
其親書ハ其親ハ其親ハ其親ハ其親  
忘後掛ハ其親

附札

書面通ハ其女ハ其親他之嫁子  
母ハ其女ハ其親他之嫁子ハ其親

其親母ハ其親ハ其親ハ其親

寛政八丙辰年林肥後守軍令

養女ハ其親他之嫁子ハ其親  
其親又ハ其親ハ其親ハ其親

附札

書面通ハ其女ハ其親他之嫁子  
其親母ハ其親他之嫁子ハ其親  
其親又ハ其親ハ其親ハ其親  
其親又ハ其親ハ其親ハ其親

寛政五癸丑年四月井伴名於小幡軍令

維娘者女在誰方也緣此在何方也  
其親者後不任其家也緣此在何方也  
其受父母之定式也後忘之而此也  
親親之相互定式也後忘之而此也  
父母之定式也而此父母之始也  
其相互定式也後忘之而此也  
其親者受父母之始也方親親後忘  
之也

他養女也緣此親之不一也  
其相互定式也後忘之而此也  
其親者受父母之始也方親親後忘  
之也

附札

書面之通也婚嫁之序也  
其受父母之定式也後忘之而此也  
其相互定式也後忘之而此也  
其親者受父母之始也方親親後忘  
之也

家無不致也其親者受父母之始也  
其相互定式也後忘之而此也  
其親者受父母之始也方親親後忘  
之也

同

若

養父母之方也十日二十日也

同舍之通也後忘之也

例

元文三戊午年六月本多兵衛守合

養母に忌後をいふ

附札

養母に忌後をいふ人出女に致し通  
ふも当又出女致し上地縁附の  
入舞をいふ忌十日後二十日

寛政五癸丑年浪色久徳守合

養母

右父忌服則向更守合

附札

書面通二十日二十日守合

嫡母

一 実母人へ出女に成り方上嫁し実母へ出女方親類に成り

服忌実方親類に成り服忌也

他身方へ養子に成り実母へ出女方実方上嫁し服忌

也

一 親類に成り見養子に成り見身姉妹伯叔父姑子外孫

実通指忌の事也

忌十日

服三十日

對面無しゆ不徳服忌通致し對面無し忌後忌可  
受し又死去後地は嫁し或又離るる事あるは忌  
し子に後忌の事

他嫡母に親類に後忌無し

嫡母と申し高後し子に唱高高後し子又高

を嫡母と申し事



一 嫡母を養母に定む候又、極次男之養母に定む候は、九月十二日  
後忌迄嫡母方親類定式、後忌迄、他は如智お續  
養子、系は如智、初、養母後忌迄、如智お續、一通、  
養子、系は如智、嫡母、服忌、九月十二日也。

同

養

以て兼不書

本文に通親類定事無

本文に嫡母を又養母に  
極次男に如智

他嫡母に如智、養母に定

九月十二日  
十月お服忌他は養子

成り候に、実の嫡母、養母、継母、忌服、無、是

分、知、配、前、如智、お續、養子、系、如智、養子、系

或、他、に、縁、附、の、中、の、女、系、無、一、通、養子、系

養母、系、如智、右、養母、忌、後、定、式

例

寛政六甲寅年十月仙石次郎傳令の合

二男三男、継母を、養母、定、他は、養子、成、り

時、右、養母、実、方、養母、に、唱、申、候、後、忌、迄

如智、又、初、に、継母、に、立、居、候、十月二十日、服、忌

迄、如智、同、以、て、極、次、男、嫡母、を、養母、に、定、他

は、養子、成、右、実、方、養母、親、類、に、忌、後、如智

如智、の、如智

附れ

書面に通、他は、養子、お、如智、お、續、  
お、如智、上、の、実、方、養母、嫡母、継母、忌、服、  
無、是、方、家、智、お、續、分、知、配、前、如智、  
一、定、式、後、忌、如智

一 家智お續、養子、系、如智、養母、嫡母、継母、後、忌、迄

一 分知配為家督お継せしむる者の子に在れば忌の父に実方  
 出母と申す嫡母継母と出母にお定の節に事  
 一 嫡母と出母の子にお出れば嫡母死後身後書置に成れば別姓母  
 と出母も身後の子を継母と申す身後書置にお出れば身後書  
 置の母也と申す身後書置れさる時の継母と申す身後書置の母也

繼父母

忌十日

服二十日

初より同居居せしむるは後忌を以て父死云々存続母地嫁或は  
 父離別せしむるは初より不の父後忌一  
 但継父母に親類に後忌を以て

同

継母 嫡母 忌十日 後二十日 他家お継せしむる者の子に在れば  
 初より同居居せしむるは後忌を以て父死云々存続母地嫁或は  
 父離別せしむるは初より不の父後忌一  
 但継父母に親類に後忌を以て

御前向は子の後書置 所城尚書本為日 二為身  
 不苦也

善

先穢踏合来、無に申す不及ををある

上 記例  
 従を急相向は初より其の身後書置附れと申  
 記は服忌無に申す身後書置の身後書置

一 継母對面無に申す 通臨終に申すは定式に服忌の事  
 継父の通臨終に申すは同居居せしむるは服忌を以て

同

善

継父と継母と服忌お遠いゆへ



一 孝子成於家無不獲孝子之格也 實母子之親類  
中城之被忌終母子之親類也母子親類之忌也如也  
一 婚妻之子先妻之半服忌也

### 離別之母

忌廿十日 服十三月同日之忌

離別之母之親類無別來定式之服忌也

### 夫

忌二十日 服十三月同日之忌

婚後之親類也 親類之忌也 夫婦之忌也 定式之忌也 數  
可也也也

他服無

一 婚後も不親類也 親類も不親類也 夫婦之忌也 定式之忌也 數  
可也也也

一 年輩の子ハ 婚後も不親類也 夫婦之忌也 定式之忌也 數  
可也也也

七弟末海也一日之忌也

忌二十日 服九十日

### 妻

縁起終末海也 身重也 服忌也 忌也 夫婦之忌也 定式之忌也 數  
可也也也 二十日之忌也 初縁後妻之忌也 夫婦之忌也 定式之忌也 數  
可也也也 力忌服不及也 夫婦之忌也 定式之忌也 數  
可也也也

同

妻之父母服忌也

他山城尚書也 夫婦之忌也 定式之忌也 數  
可也也也

善

書面通ハ 服忌也 夫婦之忌也 定式之忌也 數  
可也也也

例

寛政五癸丑年四月廿五日 夫婦之忌也 定式之忌也 數  
可也也也

私妻之實又井上周防也 夫婦之忌也 定式之忌也 數  
可也也也

忌服の法  
附礼

書面を通し、舅の忌服忌不  
及の法

此を忌服たる所  
に於て死しむる

一 姑の忌服は、其の夫の忌服より先、未だ終極する迄  
は、其の夫の忌服に準じて、終極する

一 離別して、女に嫁ぐ家の子は、其の夫の忌服に準じて、終極する  
服忌無き

但、其の終極する所は、其の夫の忌服の法

一 離別した後、出産有るは、其の夫の忌服に準じて、終極する

一 此の如く、姑の忌服は、其の夫の忌服に準じて、終極する  
一 離別して、女に嫁ぐ家の子は、其の夫の忌服に準じて、終極する  
一 服忌無き

婦子

忌二十日 服九十日

家無きと定むる時、其の夫の忌服に準じて、終極する

一 義絶し、婦子の忌服は、其の夫の忌服に準じて、終極する

一 大服忌無き別家女は、其の夫の忌服に準じて、終極する

一 婦子を、其の夫の忌服に準じて、終極する

一 婦子退身の時、其の夫の忌服に準じて、終極する

一 二之男を、婦子の忌服に準じて、終極する

一 未子の忌服は、其の夫の忌服に準じて、終極する

一 此の如く、姑の忌服は、其の夫の忌服に準じて、終極する



五ヶ條法附札一通  
 束一ヶ條も若母養父の方  
 十日二十日  
 服忌

寛政六甲寅年十月牧神依原守國令

若女若孫縁結及若孫若女  
 上若女孫親類と服忌若女若孫

附札

書面一通海終園守若女  
 十月十日十二月若女若孫親類若女  
 定式と後忌

父祀 巳

先祀ヨリ家督お孫  
 養子 養孫  
 嫡子通 嫡孫通

巳ヨリ分祀有  
 養子 養孫  
 若子通 若孫通

養子の方若女又忌服  
 十日十二月定式通  
 若女若孫親類定式若女又方若女若孫  
 忌後若女  
 從嫡子嫡孫と先祀子孫故重き事と存  
 若子若孫先祀孫目と若孫若女故若子  
 事と存ゆゆと若子若孫若女若孫





忌後 忌後 忌後 忌後

書面を通ひ一旦孝女が被服附の上  
離縁被服の儀を養父母に申す中十日十三日  
忌後忌後忌後忌後忌後忌後忌後忌後  
忌後忌後忌後忌後忌後忌後忌後忌後  
又母の叔父母半減忌後忌後忌後  
忌後姉妹を申す半減忌後忌後忌後  
忌後親類服忌後忌後

右 養女初縁の儀持りて忌後

例  
母養子親類定式忌後又母子母籍  
縁の儀退りて孝女に一通申す親類半減

一 服忌後之の故吏一 母子母籍  
半減母籍方の定式忌後又母再縁  
母の母の親類の定式母の半減  
忌後又母の半減

他母籍縁再縁の事申す母籍母  
親類の定式親類の定式又母の  
半減忌後又母の半減

附札

書面并他書を通ひ縁別母方親類  
忌後忌後忌後忌後忌後忌後忌後忌後  
母の半減親類の定式母の半減  
母の半減親類の定式母の半減  
母の半減親類の定式母の半減

右通也同合十  
九月

# 夫之父母

忌二十日

服百五十日

- 一 夫他家に孝子多実父母孝父母の時中父母定式  
通服忌之 実父母に服忌之
- 一 夫之父母にハ舅姑之事也 年孝子成りて夫之実子  
父母 夫之父母にハ不中後忌之
- 一 婚姻形お解後成りて智内之夫之父母服忌之 母之  
有孝子者 後忌之 婚姻お解内ハ後成りて智内者 忌  
之
- 一 夫之継父母後忌之

# 祖父母

忌二十日

服百五十日

母方

忌二十日

服九十日

- 一 離るる祖父母後忌之 他家に嫁りて其父母  
父之実方祖父母中減之 服忌之 祖父母之方実孫  
服忌之
- 一 母方祖父母孝実之時ハ養方定式之由実子ハ中減之  
実祖父母に後忌之ハ何れハ入地ハ其の中減ハ成之
- 一 父之実方嫡母繼母孝母後忌之
- 一 父之嫡母繼母後忌之
- 一 父ハ孝子其方ハ孝子之時ハ養父之実方後忌之 右孝父  
之妻ハ父母祖父母定式之後忌之 又養人ハ孝父ハ成  
父方ハ嫁りて其母ハ孝母ハ定式服忌之 又孝母ハ其方  
ハ父ハ孝子其方ハ孝子後忌之 唯ハ後忌之

他婚の儀に付ての養女を養ひ、実子と爲りて服忌申す所の  
後忌を云々

同

けり案不審

答

けり案元文元丙辰年申除く迄は、隨定式  
に後忌を云々

例

寛政五癸丑年四月井伊吉成公浦占申  
右内伺申附れ申すに記

一 母喪の女を父より養ひ、嫁の時母を喪ひ、親類定式に後忌を  
申すに、実子より他父母に嫁し、姑申減し、服忌を云々、母他父母  
より他父母より遠くを云々

一 右同の如く、実子より養父を母より養ひ、後忌を云々

一 実子より養父を母より養ひ、嫁母に継父を母より養ひ、時々の也  
一 養母を嫡母より養ひ、お申す父より嫁母に継父を母より養ひ、嫡母に継父

一 父を嫡母より養ひ、嫡母を養ひ、お申す子より養ひ、他母を  
或は通後忌を云々、嫡母を養ひ、お申す子より養ひ、他母を

一 娘他を養ひ、子より養ひ、家名を又外に嫁し、男を養ひ、弟を嫡子に、お申す家名を養ひ、

一 養父を嫡母より養ひ、家名を養ひ、お申す子より養ひ、男を養ひ、弟を嫡子に、お申す家名を養ひ、

一 養父を嫡母より養ひ、家名を養ひ、お申す子より養ひ、男を養ひ、弟を嫡子に、お申す家名を養ひ、

一 他伯叔父母に、お申す子より養ひ、男を養ひ、弟を嫡子に、お申す家名を養ひ、

無

曾祖父母

忌二十日

服九十日

母方之服忌無之也  
母方之服忌無之也  
母方之服忌無之也  
母方之服忌無之也  
母方之服忌無之也  
母方之服忌無之也  
母方之服忌無之也  
母方之服忌無之也  
母方之服忌無之也  
母方之服忌無之也

一 父之實方之曾祖父母之服忌無之也

同

本方之服忌無之也

答

不之也

例

寛政六甲寅年四月松平大物政守命

父之實方之曾祖父母之服忌無之也  
本方之服忌無之也

附札

書面之通之服忌無之也



一 父之母方之曾祖父母之服忌無之也

同

元文元年内降之通之也

答

本方之通之也

例

寶曆八戊寅年七月小笠原義授命

母方之服忌廿日後九十日母方之服忌無之也

本方之服忌一日

本方之通之也  
母方之服忌廿日後九十日母方之服忌無之也

父之二十日九十日之服忌無之也

通忌服之由は、同じくおぼしめされ  
母子は一日〜三年忌多し〜おぼしめされ

附札

書面通忌は、父〜母子、母〜父母、  
一日〜三年忌多し〜おぼしめされ

他父〜母子、母〜父母、おぼしめされ  
書面通忌は、父〜母子、母〜父母、  
母子、母〜父母、一日〜三年忌多し〜  
おぼしめされ  
母子、母〜父母、一日〜三年忌多し〜  
おぼしめされ

寛政五癸丑年九月松平又七郎公の命

母忌母 忌母 父 嫡子

右書面系忌通忌は、嫡子〜由母忌母、  
母子〜母忌母、おぼしめされ

附札

書面通忌は、  
一日〜三年忌多し〜おぼしめされ

書附札通忌は、元文元年以降、  
〜通忌は、一日〜三年忌多し〜おぼしめされ

一 一 辨別〜母忌母、  
〜通忌は、一日〜三年忌多し〜おぼしめされ

同

卷

本城子〜書〜おぼしめされ

中職も無き

例

寛政六甲寅年十月牧冊依後

服忌令書父母之條下、実方父母の定式に後  
忌の条に兄弟姉妹にお互に半減の服忌可  
るに、祖父母伯叔父姑は半減の忌服のみ  
其外親類後忌無き  
右の祖父母と云ふは高祖父母も祖父  
母後忌無き也  
附礼

書面に通す也

一 又実母方高祖父母高祖父母を云ふも無き

# 高祖父母

忌十日

服二十日

母方高祖父母を云ふも無き也

# 伯叔父姑

忌二十日

服九十日

母方

忌十日

服二十日

父母稱習、兄弟姉妹も中職の後忌のみ

又他家の半忌の子孫又、実方伯叔父姑半減の服忌あり

伯叔父姑の方、実甥姪服忌無き

一 伯叔父姑他方の子孫は、半減の服忌あり、伯叔父姑

の方、実甥姪の方、服忌無き

一 半忌の方、伯叔父姑他方の子孫は、半減の服忌あり、甥姪の方、伯叔

父方、実母方の子孫は、半減の服忌あり、甥姪の方、伯叔

一 父姑中減之服忌之矣。父姑之方正甥姪之服忌之。一  
 一 父中減之方正子人々養子之弟の時父之父母兄弟姊妹等は其  
 方中減之服忌之矣。  
 一 平身他家に寄るに父姑父姑人に寄るに父姑に中減之  
 中減之忌後あるに父姑に中減之方正入絶し方中減之  
 減之事也。  
 一 父之父母兄弟姊妹父姑に中減之忌十日。服忌十五日也。中減  
 之方正子人々養子之弟の時父之父母兄弟姊妹等は其  
 方中減之忌後あるに父姑に中減之方正入絶し方中減之  
 減之事也。

同

答

実方を一後一統之兄弟も同様に云ふ事也

実方兄弟一統之方は其兄弟中減早昔異父兄弟ハ  
 異父兄弟中減<sup>十日</sup>替<sup>替</sup>之服忌<sup>十日</sup>也。

寛政八丙辰年六月奈佐久左衛門右衛門合  
 例  
 異父兄弟他に養子之弟の時ハ中減之方正

附札

書面之通ハ異父兄弟他に養子之弟の時  
 方中減忌<sup>十日</sup>服<sup>十日</sup>也。

同

父之実方伯叔父姑中減之十日。四十五日服忌也。父  
 之異父兄弟伯叔父姑に中減之同日數之在也。其  
 中減之方正子人々養子之弟の時ハ中減之方正  
 同様に云ふ事也。

他伯叔父姑ハ方正入絶し方中減之方正減之故  
 歟

本書並由同舍々通抄遺書  
但甥姪二日々々他正書此均中服忌々々

寛政六甲寅年九月雜書大學書舎

異父兄弟

兄——兼領

弟——兼領

他伯叔父姑々身右甥姪忌後半減二日  
四日公姑孫在右

附札

書面通々而也

若々異父兄弟二十日忌服未公姑在右

伴在身右伯叔父姑半減忌後十日母  
方公姑孫在右

他右兄弟同他家相續書成也  
右伴書身右又半減中無々々  
子孫伯叔父姑半減而父方二十日母言  
十五日忌服父中也

附札

書面通々他家書成也而父子孫伯叔  
父姑半減服忌而也  
他伯叔父姑方甥姪服忌

- 一母異父兄弟姊妹伯叔父姑半減五日十五日
- 一母異父兄弟姊妹伯叔父姑半減服忌也母也



同俗

一母之養方之伯叔又姑之定式之服忌之他家亦續改均ハ

一又家智亦續セテ新事以子孫成ハ良ト又之孝以兄弟姉妹

一婦子退身他ト養子改ハ姑ト者ハ婦子ト子ハ叔父ト續定式

一甥之家智叔父亦續之時ハ如弟又五十月十二月之續忌之叔父

同

甥之家智を叔父亦續之時ハ兄弟姉妹ハ大叔又母  
亦成ハ均ハ亦互ハ兄弟亦滅ハ忌後又甥姪ハ均ハ  
遠ハ續ハ叔後忌ハ甥姪ハ均ハ亦亦ハ実叔又亦滅  
ハ忌服又ハ外右准ハ弟又親ハ弟ハ甥ハ他家

亦續ハ甥ト亦忌後ハ親合亦遠ハ亦亦弟

答

此同合セ通兄弟亦滅ハ忌後甥姪ハ忌後亦甥姪  
ハ方実叔又亦滅ハ忌後亦亦弟ハ亦亦甥姪ハ亦  
況亦遠ハ續ハ叔後忌ハ甥姪ハ均ハ亦亦ハ実  
甥姪ハ亦滅ハ忌後ハ弟ハ親ハ弟ハ准ハ亦甥姪ハ  
忌服ハ弟ハ亦滅ハ忌後ハ弟ハ親ハ弟ハ推ハ弟ハ弟  
又亦身他家ハ亦同姓ハ亦弟ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟  
亦續ハ甥ト他家亦續ハ甥トハ亦遠ハ弟ハ弟ハ弟  
滅ハ忌後又ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟

甥之家智を伯父續ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟  
ハ甥ト他家亦續ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟ハ弟

一伯父曾祖又養子お成りたも大伯父と養子お成りたも伯父  
申減と後忌の文

### 兄弟姉妹

忌二十日

服九十日

別後たりといふは後忌無きなり

兄弟の内他家にお養ひする者も其の如くお互に申減と後忌  
受く兄弟お家にお養ひする申減と後忌也養女子も  
同例

一家増にお養ひ分知配為せざる養子も其の如く兄弟姉妹申減  
服忌受く実子の定式と後忌也兄弟姉妹も其の如く申減  
申減の上減無し

一兄弟の内出家にお師匠と寺に任職した申ひ子と遠く  
定式と服忌受く  
一養子も兄弟姉妹他にお養ひする者も其の如く申減と後忌受く

一婦養子も大伯母にお成りたも実姉申減と後忌の文

一婦子も若人にお成りたも父被養子の時も実子の如くお成り  
お互に申減と後忌也

一兄と養子成りたる者も兄弟姉妹の伯叔又姑と續にお成り伯叔又姑定  
式と後忌の文も伯叔又姑の如く其の如く實兄弟姉妹申減と後忌  
受く若伯叔又姑の子の甥姪の如く其の如く續にお成り定式  
と服忌受く甥姪の如く其の如く實伯叔又姑申減と後忌の文

一父子別にお成りたも次男の如く養子にお成りたも兄弟姉妹他にお成り  
成りたる者も其の如くお互に定式と後忌の文も若伯叔の子にお成りたも  
子の甥姪の如く其の如く定式と通る如く

一遺跡にお養ひせしめ分知配為せざる養子も其の如く兄弟姉妹他にお成り  
する者も其の如くお互に後忌無し

一又子別にお成りたも次男の如く養子にお成りたも兄弟姉妹他にお成り  
お成りたも又子にお成りたも又子と後忌の文



卷

忌引成身

如而吳父兄弟子孫我絕之親類無母之母方等  
平生之通故之無不拘死去之存知也於去  
忌引子細無母也

# 嫡孫

忌十日

服二十日

嫡孫兼祀たる時も嫡子も後忌あり祀父母死去の時も嫡  
孫も方は九十月十二月も後忌あり以外も親類後忌  
無別成実の禱も通也方は元孫たる時も兼祀たる時ハ  
母も也

一 嫡孫ハ嫡子も子也嫡孫も末孫も他も孝子も是也ハ  
後忌も孫も方ハ実祀也中減も忌後も也

一 養父死去養祀父も嫡孫兼祀たるも養祀母も九十月十二月  
忌服も養父も養母も養年出育も更も也家無お孫也  
それハ一通りも孝母も為り二十日百九十月も後忌也

# 末孫

忌三日

服七日

女子ハ父初生れても末孫も准以娘方も孫後忌同也  
同

中減も忌後也

二男之男他家也養子も孝子も子孫も後忌も  
一孫他家お孫も孝子もお孫も後忌も孫も方は祀父  
母も中減も後忌も

同

中減も忌後也

卷

二ヶ条在本文之通後忌無之孫中減之  
忌後中事無之

### 曾孫去孫

忌之日

服七日

惣領末子之孫子無

他日養子之孫中減之通後忌無之

一娘方之曾孫去孫中減之後忌無之

### 從父兄弟姊妹

忌之日

服七日

父之姊妹之子并母方も服忌同也

父之養子從父中減之服忌無之

一叔父他日中減之孫中減之後忌無之  
同

卷

又実方從父服忌無之叔父他日養子之孫中減之  
子從父中減之服忌無之右通片後忌無之

伯叔父姑甥姪之續之妻何れも一人中減之成  
爲中減之叔父姑之忌後中減之甥姪後忌無之片後忌  
無之成山後子從父女中減之服忌無之

一養子從父之成後忌無之他家之養子之孫中減之通後  
忌無之

同

卷

本文之通養子從父中減之後忌無之

本文中減之同中減之通後忌無之

甥姪

忌三日

服七日

- 一 王身中の子を命実方より授けし者おとすに後忌無し
  - 一 中身中子授けし者通後忌無し他日中身中子に成りし者おとすに後忌無し
  - 一 養父より命実方授けし者あるは親親後忌無し
  - 一 中身中子授けし者右中身中子見ふゆゆの姪に成りし者おとすに後忌無し
  - 一 父母より命実方授けし者同士の授けおとすに後忌無し
  - 一 兄弟他日中身中子おとすに同士の授けおとすに後忌無し
- 姉妹より甥姪に後忌也  
 又父兄弟姉妹より中身中子に授けし者おとすに後忌無し  
 兄弟他日中身中子に成りし者命実甥姪に後忌無し

答

は甥姪に後忌中身中子二日四日又中身中子

中身中子忌服を祖父母伯叔父姑兄弟とて命実方  
 甥姪に成りし者おとすに後忌無し事とておとすに  
 下の条同断

- 一 兄弟他日中身中子に成りし者命実方兄弟姉妹より甥姪に後忌無し
- 一 又父兄弟姉妹より甥姪に成りし者おとすに後忌無し他日中身中子に成りし者おとすに後忌無し

右之條

例

寛政六甲寅年五月松平左衛門尉依左衛門  
 甥姪に成りし者中身中子に成りし者おとすに後忌無し事とておとすに









踏合

子死後其所居之墓の地ハ野に墾みしハ其踏合ニ種也  
行水改葬

改葬

遠ニ遷一日

子不葬ニ遷スル也但平葬ハ其ノ追而遷スル也及忌掛ハ  
祝祭改葬ニ場ハ其ノ若クモ遷スル也一忌子掛祝祭  
ニ場ハ其ノ及ク不及クモ遷改葬ニ場ハ其ノ及ク不  
一曰古也遷改葬ニ場ハ其ノ及ク不及クモ遷改葬ニ場  
附リ切取ル日ハ葬ル日ニ日數ニシテ一子ハ平葬場  
起ル日ト葬ル日ト二日トモモ也他人ノ改葬ニ  
至レ成ル者同切取ル日ハ葬ル日ト二日トモモ也  
及不及クモ遷改葬ニ場ハ其ノ及ク不及クモ遷改葬ニ場

妾

一 改葬ニ成ラズ不中付日限有ルハ其ノ日モ遷改葬ニ場  
不中付日限有ルハ其ノ日モ遷改葬ニ場

子出生ニ妾死スル時ハ其ノ妾モ遷改葬ニ場  
産科ニ及ハ不及クモ遷改葬ニ場  
一 籍子ノ母妾モ又唯其ノ他ノ嫁ルモ産科ニ及ハ不  
実母定式ニ後忌ラズ右実母祝祭ハ其ノ子ノ祝祭書ニ  
不書載物ニ家女モ其ノ後忌ラズ  
一 妾後ニ子嫡母ニ其ノ妾モ其ノ後忌ラズ  
方ニ妾母服忌ラズ其ノ妾モ其ノ後忌ラズ  
服ニ及ハズ  
一 又ニ実母妾モ其ノ妾母定式ニ服忌ラズ  
從祀又ニ其妾モ其ノ妾母定式ニ服忌ラズ



三つ色

父方の父方より半減する母方の母方より半減する是又兄弟の子甥姪忌二日後四日父方は卯二日巳日と申す服忌も無きなり

元文元丙辰年服忌令除くケ条

- 一 家被禱父恩深き者其子と知配尚りの者同也
- 一 遺取お續く者其子又実方より知配も其方より実方其子親類お取れ将年取れお互に定式も通く事なり
- 一 其子たる者其方より嫡母ても其子自ら其方者遺取お續く者其子嫡母継母半減し服忌の事も遺取お續せざる者其子嫡母継母定式も通く事なり

- 一 婚儀身中其女にお取れ其方父母の定式も通く事なり兄弟姉妹もお互に半減し服忌の事なり是れ親類の親類も実方親類の定式も通く事なり
- 一 又其方養子母方より後忌無き母方より其子又方より服忌無き養子兄弟姉妹お互に半減し後忌の事なり是れ親類の親類も實方親類の定式も通く事なり
- 一 母方より縁を交ふ子も又方より親類の母方同く服忌の事なり其方縁を交ふ其子にお取れも遺取お續く事なり
- 一 又方より祖母も又母方祖父母も母方より同く服忌無き事なり
- 一 娘方より孫姉妹方より甥姪又も姉妹方より提身孫孫母

方之可准  
一又母 二十日 種習  
伯叔父姑 二十日 忌  
服 二十日

右十ヶ条法 除 忌 不及 沙汰

### 御足輕之下服忌令

- 一又母 二十日
- 一兄弟 十日
- 一姊妹 十日
- 一妻 七日
- 一子 七日
- 一祖父母 十日
- 一母 七日

- 一養父母 十日
- 一継父母 五日
- 一伯父母 十日
- 一母 五日

天和三癸亥年十月廿日  
所家 法法也  
小致人 右按忌令 在周可申事

右惟政大目付傳來後忌令之月或志  
不均其歸 類或之類侶之波能  
垂曲之條附札及問執以故股  
忌條例同摺治不載之例之隨一  
遂第斷若若依之向來解給  
之可为一助歟之更之得寫之書  
江戶大目付之書死亦字之平

文政八百春二月 筆者

秋元勝定

追加

文政五年壬午四月

御徒七次格 死 市東又花

御臺所小間卷 同 長之物

右侍之服忌受

文政十二年庚寅十月

御徒七次格 死 關根利吉

御豆輕 同 四方藏

右侍之服忌受

文政六癸未三月

新御中舍委山妻 死 中村平次郎

御料理人捨治格 同 劫奪

右侍之服忌受

天保十二年壬午六月

御任居御料理人格 死 金井新之丞

御儀事控小役人格 吉田為右衛門

右侍之服忌受

世跡之由そ乃左の  
実子也今井新之丞  
表子にそふ

右

勸取中

後之入

後之為

一助役

詔永讓之

御徒士目付

安井三郎

西郡五三次

秋元軍助

栗原重盛

松本傳一

先年雨... 詔永讓之... 松本傳一

母... 松本傳一





